広報 向日市

No.374

昭和61年3月15日

◎発行　向日市役所（京都府向日市寺戸町中野20）
◎編集　秘書広報課　◎電話　075(931)1111

◎向日市民憲章◎

1　住みよいまちを力を合わせつくりましょう
1　きれいな緑と水と空を守りましょう
1　働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
1　すぐれた教育と文化を育てましょう
1　明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

61年度予算案

総額159億187万円に

五万市民のくらしを守り二十一世紀に向けての充実した理想のまちづくり

昭和六十一年度の予算案がまとまり、五日から開催されている三月定例市議会に提案され、現在審議されています。

予算案の総額は、一般会計、特別会計など七会計で百五十九億百八十七万六千円となっています。

予算規模

昭和六十一年度当初予算案は、一般会計九十九億六千六百万円、国民健康保険事業特別会計十六億二千百七十一万三千円、老人保健医療特別会計十六億五千百四十二万円、下水道事業特別会計十三億千百四十二万円、水道事業会計十三億三千六百四万六千円、農業共済事業特別会計千五十万三千円、大字寺戸財産区特別会計四百七十七万四千円、あわせて百五十九億百八十七万六千円となりました。

一般会計

◆市民のくらしを守り　健康と福祉の向上◆

福祉関係について、まず老人福祉の面では、高齢者の健康を守り生きがいを高める対策として、市内施設の見学会、また特別養護老人ホーム「乙の国福祉会旭が丘ホーム」に対する補助、ねたきり老人短期保護に取り組みます。次に市民の健康の面については成人病の予防対策として、保健指導を中心に市民の健康づくりを進めるなかで、新たに肺がん検診を実施します。また、お年寄りの疾病の早期発見と健康保持のため、リハビリ相談、機能回復体操及び機能訓練器具の充実を図ります。

次に産業振興面の農業関係では、農業振興対策として明るい展望の開ける農業振興構想の策定を、また、かんがい排水の整備や農道の整備といった農業基盤の整備に取り組みます。商工関係では企業の経営安定を図るための融資制度や経営講座、商店街経営診断を行い、商工業の活性化を図ります。

市民の生命と財産を守り安心してくらせるまちづくりを図るため、消防については、火災などの早期通報に備え、通報ステッカーの全戸配布と消防・防災フェアの開催や消防水利施設の整備・通信設備の充実をはかります。

◆住みよい生活環境の整備◆

市民生活に潤いを与え、住みよいまちとするため、生活道路の拡幅改良事業や浸水防除対策事業などを計画的に推進するとともに、緑地を確保し、都市環境を保持するための市民のふれあい広場を昭和六十三年度を目途に建設を進めます。さらに街路整備については久世北茶屋線の整備を、また、東向日駅周辺地区の再開発を進めます。

快適な市民生活を維持するための公害対策や交通安全対策に力を入れ、生活環境の保全に万全を期します。

さらに、公共下水道事業についても引きつづき計画的に整備の推進を図ります。

水道事業については、豊富で安定した良質の水を供給するため万全を期していきます。

◆心の豊かさをはぐくむ　教育文化の充実◆

学校教育については、老朽化に伴う向陽小学校の屋内運動場の建替えのための地質調査を、社会教育関係では図書館の図書の増冊および、文化財整理室の建設を計画しています。また、ふるさとの理解を深めるための市史編さんの史料編の刊行を予定しています。さらに、昭和六十年度からの継続事業である市民体育館の建設は、六十一年九月の竣工に向けて着実に工事の進捗をみています。

地域コミュニティ活動の推進を図るため、向日町地域にコミュニティセンターを建設すると共に上植野町東地区コミュニティセンター建設調査を行います。

また、世界平和都市宣言に伴うエコー葉書の発行、さらに国際交流事業についても積極的に推進します。

このほか、高度情報化時代への対応として、事務処理の効率化を図るため、電話ファックスやパソコンなど、OA機器を導入します。

民秋市長

昭和六十一年度のわが国の経済運営は、物価の安定を基礎としつつ、内需を中心とした景気の拡大を図り、持続的な安定成長を達成することを基本としています。

このため、昭和六十一年度の国の予算案は、引き続き財政の改革を強力に推進し、その対応力の回復を図ることが緊要であるとして歳出面において、経費の徹底した節減合理化を行い、歳入面においても、その見直しを行い、公債発行額が縮減されたところであります。

国の一般歳出は、四年連続してマイナスとなり、特に、地方自治体に対する国庫補助負担率については、六十年度以上に厳しく引き下げが図られたところであります。

また、国の地方財政計画におきましても、引き続き厳しい状況にあることにかんがみ、おおむね国と同一基調により、歳入面におきましては、地方税、地方交付税、地方債の所要額の確保を、歳出面におきましては、徹底した節減合理化に徹し、節度ある行財政運営を行うこととしております。

このように、行財政改革という大きな課題を抱えた国及び地方の行財政を取り巻く環境は厳しいものがあります。

しかし、私は先人から継承した歴史と伝統を生かし、より住みよい、より豊かな市民生活を築くため、本市の抱える懸案の課題に挑戦し、積極的かつ計画的に推進しなければならないと考え、たとえ厳しい財政的制約の中でも、市民のためにやるべきものはやらなければならないと決意いたしております。

61年度 施政方針

時代の要請に即した市政の推進

このため、これら課題の克服には、中・長期の財政計画により推進し、五万市民の今日のくらしを守り、二十一世紀に向けて福祉と教育・文化の充実した理想のまちづくりを目指し、全力を傾注いたす所存であります

昭和六十一年度の当初予算案につきましては、清潔で明るい心のふれあう市民本位の市政の推進を基本に、

第一　市民のくらしを守り、健康と福祉の向上

第二　住みよい生活環境の整備

第三　心の豊かさをはぐくむ教育・文化の充実

の三項目を行政施策の柱としてふるさとづくりの諸施策について積極的な予算計上に努めた次第であります。

とりわけ、昭和六十一年度は市長三期目のしめくくりの年であり、公約の実行を目指し、これまで取り組んできた各種施策・事業を一層推進するとともに、時代の要請に応える施策も種々織り込み多様化する市民ニーズに対応してまいります。

市民のみなさんのご支援とご理解をお願い申し上げます。

■特別会計■

老人保健医療会計 16億5142万円

七十歳以上、及び六十五歳から六十九歳までの障害のあるお年寄りにかかる医療についての給付に必要な経費を計上しました。

国保会計 16億2171万円

国民健康保険事業は、医療費の動向により、国保財政の健全化に努めています

昭和六十一年度は、従来行っていた人間ドック検診補助事業に加え、被保険者のための健康教室を実施し疾病予防に努めます。

下水道会計 13億1142万円

公共下水道事業は昭和五十四年の森本町での一部供用開始以来、昭和六十年度末で約百七十六ヘクタールの整備を完了しています。

新年度も、幹線工事及び面的整備の推進に一層努力していきます。

農業共済会計 1050万円

農業経営における不慮の事故により受ける損失に対し補償し、農業経営の安定と農業生産力の発展のために予算化しています。

大字寺戸財産区 477万円

大字寺戸財産区特別会計では、運営経費ならびに財産維持管理費を計上しました。

水道会計 13億3604万円

水道事業は、取水・導水・浄水・配水の各施設の整備に万全を期すと共に、今後も清浄にして豊富低廉な水を供給するため、事業運営の一層の効率化と市民サービスの向上に努めていきます。

昭和六十一年度の予算案に盛り込まれている新規事業は次のとおりです。

おもな新規事業

■市民のくらしを守り　健康と福祉の向上■

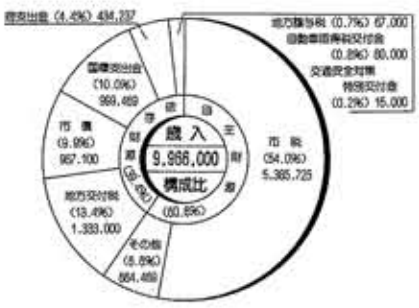
▽特別養護老人ホーム建設助成
▽老人生きがい対策事業として市内施設の見学会の実施
▽育児相談の開設
▽肺がん検診
▽向日市農業振興構想策定
▽商店街施設設置事業補助
▽ふるさと産品認定証の発行
▽消防防災フェアの開催（実演、展示）
▽防火水槽の整備・充実
▽塵芥収集車の購入
▽阪急電車京都線連続立体交差化事業にかかる環境アセスメント調査
▽東向日駅周辺地区都市計画施設調査
▽エコー葉書の発行
▽上植野町東地区コミュニティセンター建設調査
▽向日コミュニティセンター建設事業
▽向陽小学校屋内運動場建設事業調査
▽本の展示会開催
▽向日市史（史料編）の発刊
▽文化財整理室の建設
▽市民体育館の競技・管理用備品購入
▽ワードプロセッサー、パーソナルコンピューター電話ファックスの設置

■住みよい生活環境　整備拡充■

▽放置自転車保管場所の整備
▽第四次交通安全計画の策定

■心の豊かさをはぐくむ教育文化の充実■

一般会計予算構成グラフ



歳入予算構成図

歳出予算構成図